



さくほ 議会だより



りんご・シナノスイート



八千穂中しらかば祭(文化祭) 響け高らかに、夢と希望をのせて

9月定例会のあらまし	2P
平成23年度 一般・特別 各会計決算認定	3P
一般質問(5人が町政を質す)	4P~
陳情・発議	6P
総括質疑	7P
委員会活動から	8P
しらかば	10P

平成24年10月25日

第30号

発行：佐久穂町議会
議長 今井邦三
編集：議会広報編集調査特別委員会
印刷：(有)東城印刷佐久穂工場
〒384-0697
長野県南佐久郡佐久穂町
大字高野町569
TEL 0267-86-2525
FAX 0267-86-4935

平成24年

9月定例会

定例会のあらまし・町の動きなど

日照りつづきの夏を引きずって、きびしい厚さの残る中、第5回定例会が9月6日から20日まで開催されました。

招集あいさつで町長は、8月29日に野田首相に対する問責決議案が可決され、休会状態となったため、地方交付税の財源となる赤字国債発行のめどが立たなくなり、町に入る予定であった約9億7,000万円の交付税が延期となったことを報告。一日も早い交付を国に要望していきたいとの考えを示しました。

世界的な水不足を背景に、佐久地域各市町村で足並みをそろえて、地下水保全に取組むため、今議会に地下水保全条例案を提出したと述べました。

● 防災訓練

昨年の東日本大震災により、防災意識が高まっています。9月2日に実施された町の防災訓練は、住民の一人一人が防災に関する正

しい知識を身につけ、「災害時に何をすべきか」を考える機会となるよう工夫し、町民の災害に対する備えの充実につなげていくことを目的に実施されました。

● 森林整備

昨年7月に府中市との間で締結された「森林整備協定」に基づき、府中保養所辺周及び大日向、余地地区の山林の間伐を実施します。この事業の一環として、府中市の小中学生や市民が参加して、森林間伐体験事業が7月26日27日の両日、八千穂高原において行なわれました。

● 獣害対策

獣害対策について、今年度から新たに、ハクビシンやタヌキなど中型獣の捕獲にも報奨金を支給します。8月末には当初予定していた50頭を越える57頭が捕獲されました。また鹿の捕獲も4月以降5ヶ月間で、615頭を捕獲しました。

● 成人式

8月15日、成人式が開催され、町の新成人156名のうち126名が参加しました。成人式実行委員長の渡辺さんが「これからの時代を支えていくのは私たち若者です。一人一人もって日本のことを知り、目を向け耳を傾けて責任を持った行動をし、社会に貢献できるように努力したい」と決意を述べました。また、2名から新成人としての意見発表がされ、それぞれ抱負が語られました。

9月定例議会に提出された議案等は、平成23年度一般会計及び国保会計他8件の特別会計認定案、平成24年度一般会計及び国保会計や、介護保険会計など5件の特別会計と、病院事業会計の補正予算案が提出されました。条例案では、地下水保全条例など7件が、他に辺地整備計画の変更、町道路線の認定などの議案が提出されました。

条例

地下水保全条例
地下水の汲み上げを規制し、地下水の枯渇及び地盤沈下を防止することなどを目的とする条例。

環境保全条例の改正

地下水保全条例を制定するにあたり、地下水採取に関する規定を削除し、重複を避けるもの。

林道の設置及び管理条例の改正

林道田口十石峠線開設工事の完了に伴う、道路延長の変更。

下水道施設条例の改正

町の下水道料金を、南佐久環境衛生組合の料金と同一にするもの。

町営水道の布設工事監督者の資格等に関する条例

水道法の一部改正などにより、町営水道の布設工事監督者の配置基準や資格、水道技術管理者の資格について定め、工事の品質の確

保をはかるもの。

防災会議条例の改正

災害対策基本法の改正に伴い、市町村防災会議の機能を強化するもの。

佐久穂町の辺地に係る総合整備計画の変更

影、新田辺地の町道菅刈場線の舗装工事を、総合計画に追加するもの。

陳情

「かさなり区」より、団地に隣接する山林を伐採し、災害時に倒木などによる家屋の損壊を防止してほしいとの陳情が提出されました。



9月定例会

平成23年度 決算を認定

一般会計

収入
81億2,836万3千円
 支出
78億 929万7千円

平成23年度決算

一般会計、特別会計の各決算について、慎重なる審議の結果、それぞれを認定しました。

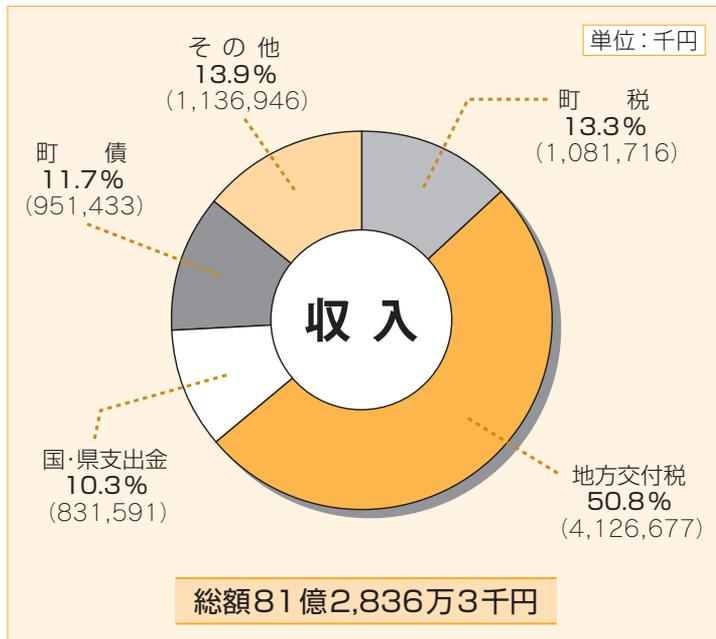
◆ 一般会計 ◆

収入決算額

81億2,836万3千円。

支出決算額

78億929万7千円。



翌年度繰越額

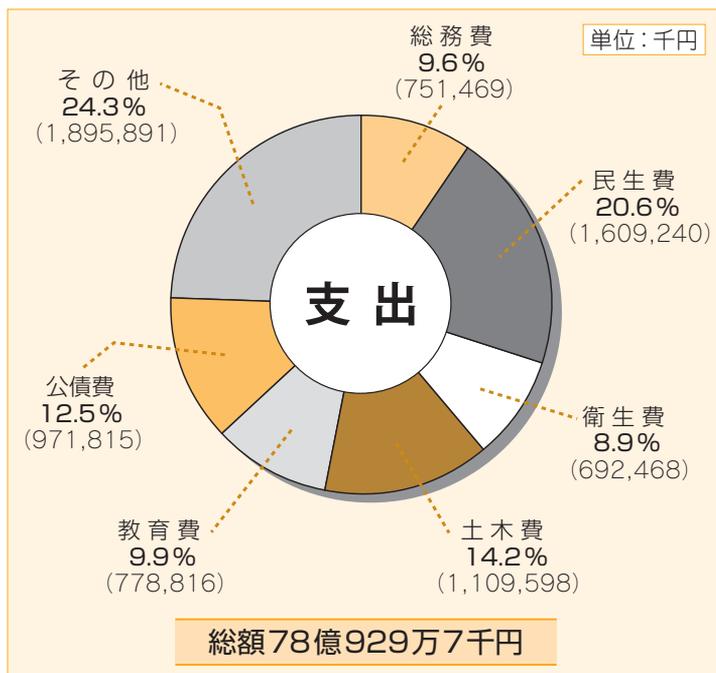
4,105万2千円。

剰余金

2億7,801万4千円。
 (内、基金へ1億5,000万円積み立て。)

平成22年度比でみると、収入で6億3,258万円の減額です。主として、臨時財政対策債・合併特別債(3億604万円)他の減によりです。
 支出では、4億1,85

6万円の減額。主として、まちづくり交付金(2億386万円)他の減です。
 国保会計採出金(6,524万円)他の増額もありません。
 収入の基盤は税金であり町税の調定額、12億1,558万円に対し、10億8,172万円の収入で、収納率は89%でした。(前年度比・同率)ただ、収入済額調定額では増収でした。



支出の主なものは、総務費の戸籍住民基本台帳費に9,576万円の増(電算委託料、課再編による人件費増)などです。

◆ 特別会計 ◆

国民健康保険は、相互扶助の主旨を徹底し、滞納額減少に努めること。また他の特別会計についても、引き続き健全な財政運営の推進を望むものです。

平成24年度 補正予算

◆ 一般会計 ◆

4億2,796万9千円を追加し、収入支出それぞれ89億5,647万7千円。

◆ 特別会計 ◆

千曲病院の調理室改築工事費増(405万円)など他の会計についても、それぞれ補正がありました。

国保税の負担軽減のため、一般会計からの繰り入れを

町長 医療費の抑制などあらゆる努力をした上で考えます

岡部 学



原則です。一般会計からの繰り入れは、他保険加入者との公平制も考慮し、考えておりません。

問 国保税は、昨年20%、今年10%と二年連続で引き上げられた。

今年6月の定例議会において、国保税引き上げ条例案の採択にあたり、一般会計からの繰り入れなどで、国保税の増加を緩和するよう意見が付された。

国保税の負担軽減のため、議会からの意見も取り入れ、一般会計からの繰り入れを決定しては。

町長 国保会計は、国・県及び町の補助金と被保険者の国保税で、医療費などの支払いを賄う独立採算性が

介護保険改定による生活支援サービスへの影響は

問 今年四月の介護保険法が改定され、洗濯・調理・掃除・買い物などの生活援助の時間区分が短縮されたが、サービスの切り下げなど問題は生じていないか。

町長 当町の生活援助サービスの利用者は、ケアマネージャーによるプランの組み替えなどにより、ほとんど影響は無いということになります。

町長 多くの皆さんが、一般会計からの繰り入れを理解してくれるのは、国保税が県平均ぐらいになった時かと思っています。

医療費を下げるあらゆる努力した上で、なお必要となれば理解を得られると思います。



町立「千曲病院」での各・待ち時間解消はできないか？

町長 来院患者数に応じた、医師数の確保に努力したい
岡部 勝一



待ち時間が長い

問 町立千曲病院において、予約の時間に受診できないが、改善策は。

町長 内科医師等、6名で対応しているが、患者数に応じた医師の確保に、努力していきたい。

問 会計までの時間短縮についてはどうか。

町長 平成18年度オーダーリングシステム導入で、会計から薬剤の受け取りまでの、時間が短縮されている。



千曲病院

呼び出し機等の検討は

問 受診時、会計時及び処方せん受け取り時の名前連呼で、いやな思いをするが、呼び出しタグ等の導入は考えられないか。

町長 医療安全上、フルネームでの呼び出しをしています。今後、院内接遇委員会などで検討したい。

診察券の磁気化と電子カルテの導入は

問 現在、紙の診察券を使用しているが、改善は。

病院事務長 電子カルテの導入とあわせ、今後2年程度をめどに検討しているところです。

八千穂高原スキー場は

問 八千穂高原スキー場の、夏場の有効利用の具体策として、春のワラビ狩り園、ハイキングコースの設置、駐車場を麦草峠までのバス発着場とし、活用できないか。

産業振興課長 アンテナさくほの体験ツアーで、山菜採りを実施しました。また、写真コンクールも作品展の固定化で休んでいます。バス発着所としては、白駒の池駐車場に対応できています。

農業と地域環境を守る取り組みに対する、町の支援は

町長

集落ごと運営委員会を設立し、事務を行っていただきます

井出 和 廣



問 農地、水、保全管理支
払交付金事業の事務は、町
でやるべきと考えるが。

町長 200ha以上で、農
地、水、環境保全組織の運
営委員会を設立することが
出来れば、事務を一括して
行うことが出来ます。

問 町、地域の事業効果は
大きいので積極的に事業に
取り組むべきであり、その
為にも町での事務支援は必
要と考えます。町村で事務
をやっているところも県下
にはあります。

建設課長 町が協
定を結ぶ立場なの
で、任意団体を設
立し対応したいと
考えています。

問 人、農地プラ
ン、地域農業マス
タープランにおけ
る、青年就農給付
金要件対象者は、
全員給付金対象と
なったのか。

町長 青年就農給付金の、
経営開始型給付金申請者は
8名であり、全員支給対象
となりました。

問 次年度以降要件を満た
しても、支給対象とならな
かった新規就農者に対する
町の支援は。

産業振興課長 町の新規就
農者支援事業補助金要綱に
よる支援、あるいは担い手
育成基金等に対応し、極力
不公平とならないよう対応
いたします。



農地・水 保全管理共同作業

八千穂福祉センター及び茂来館の利 用料金はどのように検討したのか

町長

条例の細部まで、チームを作って 検討したいと考えています

井出 清 嗣



問 政治活動、宗教活動に
使用する場合、通常の3倍
の料金を徴収すると定めて
いるが、社会教育法との関
係でどう検討したか。

町長 政治活動、宗教活動
の判断はむずかしい問題で
す。同様の規定は近隣には
ありません。合併時に整備
した条例も細部まで検討が
至らなかつた部分もありま
すので、検討したいと考え
ています。

教育次長 佐久市では政党
政策演説会を行う場合、参
加費をもらわない場合は通

常料金、もらう場合には2
倍の料金です。

宗教団体については憲法
89条により使用を許可して
いないようです。

地下水保全条例

問 今回提案された条例は、
外国資本などから貴重な財
産である水資源を守るため
のもので賛成です。が、
「地下水保全条例」で
あれば「規制」と共に
「水源の涵養」に努め
るべきだ。

町長 水源涵養のため
の森林整備は行ってい
ます。運用していく段
階で、足りないところ
は足していきたいと思います。

デマンド交通の改善を

問 佐久病院までデマンド
が行く要望が強い、佐久市
との定住自立圏協定の中で
検討しているか。

総務課長 圏域地域公共交
通ネットワーク構築事業と
して、24年度から検討が始
まります。



茂 来 館

一般質問

相談支援専門員の充実が必要 では(障がい児・者の相談支援をすすめるうえで)

町長 現状では相談支援専門員の数は不足しています

高見澤 春野



相談支援事業の体制整備は

問 相談支援をすすめるうえで、相談支援専門員の現状は。

町長 現状では、不足しています。

問 相談支援専門員の不足への対応は。

町長 利用者さんとその家族、事業者、近隣市町村と連携し、

相談支援専門員の数と質の向上につとめ、国には報酬の充実を訴えています。

健康福祉課長 相談支援専門員の養成は、主に「陽だまりの家」

と話をしています。

問 町内事業者と連携した基幹相談支援センターの確立に向けた考えは。

町長 必要性を認識していますので、慎重に検討していきます。



障がい者福祉施設「陽だまりの家」

陳情・発議

陳情

「かさなり区」に隣接する山林の伐採に関する陳情書

かさなり区
区長 田中英治

発議

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保、充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出

●かさなり区の三方を囲む民有林について、年数の経過とともに、強風・大雨で倒れる危険性がある立木について、区として間伐・伐採が出来るよう町から所有者に文書の発送をして頂くこと。
●特に危険と思われる立木についての、伐採のお願い。

全員賛成(採択)

地球温暖化防止をより確実なものにするためには、山村地域の市町村が、主体的・総合的に実施することが不可欠であるが、そのための恒久化、安定的な財源が不足している。
一酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林整備、保全等を推進する市町村の役割を踏まえ「地球温暖化対策のための税」

の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保、充実する仕組み」を早急に構築することを求める。

全員賛成(採択)



かさなり区

総 括 質 疑

問 決算審査意見書の中に、社協の収入源である在宅利用者の利用回数が減少し、社協財政を圧迫しているところがある。

答 他のサービス事業所を利用する方が増えている状況があると思われます。今後社協では、サービスの向上を図って利用者を増やしていきたいとのことです。



社会福祉協議会

問 農業費で、地域自主戦略交付金の該当する事業は、

答 広域農道補完事業、寺窪の調整池事業を計画しています。



問 橋梁維持改良事業で、長寿命化計画の橋梁の数は、

答 町で管理している道路橋は、227橋で、平成25年度から34年の10力年で、25橋を修繕する計画です。



老朽化した橋

問 索道事業で、臨時職員の雇用は何名か。

答 全員で53名です。リフト、発券、レンタル、事務、ジュニアランド、雪づくり作業という内容で従事していただいております。

問 八千穂小学校の借地について、地権者の数、統合後の借地についての考えは、

答 地権者は1名であり、契約期間が平成30年3月31

日まであります。学校跡地の施設等利用検討委員会において検討していただき、提言をいただくことになっております。

問 図書館の図書が9万冊になり、蔵書保管容量の余裕はあるのか。

答 保管できる容量は、移動図書館の書庫など合わせて、3から4年分かと思えます。



図書館

問 財政援助団体や、指定管理委託先の監査の実施は、

答 法的に義務つけられてはいませんが、契約期間中に一度は監査を実施し、是正改善を要する事項があれば指摘します。

一部事務組合 議会報告

佐久広域
連合

平成24年
第2回定例会

佐久水道
企業団

平成24年
第2回定例会

一、承認案1件。

平成23年度、佐久広域連合一般会計補正予算他5会計の専決処分報告

二、佐久広域連合火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

三、契約議決案3件

水槽付消防ポンプ自動車の購入、普通消防ポンプ自動車の購入、林野火災工作車の購入について。

四、平成24年度佐久広域連合一般会計補正予算案が上程され、全議案原案可決となりました。

南佐久環境
衛生組合

平成24年
第2回定例会

主な内容は、監査委員の選任について、公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について、審議の結果、原案可決されました。



活動から

総務文教常任委員会

統合小中学校整備事業

第二期工事順調にすすむ

テニスコート、グラウンド整備もほぼ終了し、現在第二期建設工事（中学校舎、中学校体育館）が工期通り順調に進んでいます。

21年度からの土地購入費を含め、現在までの投資額は4億9,800万円余であり、財源は合併特別債4億2,550万円、一般財源は7,300万円余です。第二期工事の工期は旧中学校舎の解体、新校舎への移転迄、26年3月末です。



学校建設工事現場

平成24年度 補正予算

地方交付税の確定により3億1,872万5千円収入増となり、歳入総額4億2,796万9千円の増となりました。歳出の主なものは、統合小中学校建設費にそなえての、公共施設等整備積立金4億円、太陽光発電設置補助金が不足するため500万円計上しました。

条例の制定

佐久穂町地下水保全条例の制定

地下水の採取を規制することで、将来にわたって地下水を保全していくことを目的としています。また基本理念は、町民生活に欠くことの出来ない、町民共有の貴重な財産であると位置づけています。

地下水採取については許可申請、許可要件等詳細に規制しています。全員賛成しました。なお、採決にあたり討論の中で森林の保護育成、大規模開発行為を極力抑制し、森林の減少を抑えることの要望がありました。その他3件の条例制定について説明がありましたが、いずれも全員賛成しました。

地下水採取については許可申請、許可要件等詳細に規制しています。全員賛成しました。なお、採決にあたり討論の中で森林の保護育成、大規模開発行為を極力抑制し、森林の減少を抑えることの要望がありました。その他3件の条例制定について説明がありましたが、いずれも全員賛成しました。



森林資源

委員会

経済福祉常任委員会

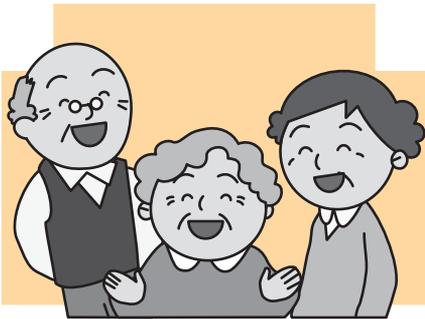
広域型特別養護老人ホームの建設事業者を募集!!

「第5期佐久穂町老人福祉計画・佐久穂町介護保険事業計画（平成24年～26年度）」において、特別養護老人ホームの新設を予定し、建設事業者を公募しています。

床とする
4、設置地域 佐久穂町内
5、整備年度 平成25年度中に建設工事着手、平成26年度中に開設すること

新設される特別養護老人ホームの概要

- 1、種類 広域型特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）
- 2、定員 70人（定員10人以下のショートステイを併設すること）
- 3、形態 ユニット型個室と多床室の組み合わせとし、個室は30床、40



施設が開設されれば、入所期待者の要望に応えられます。

平成23年度

一般会計 歳入・歳出決算

衛生費関係

町民全てが健康で安心して生活が送れることを目標に、事業の推進に努めた。

●各種検診事業

- 乳房・子宮がん 1,613人
- 胃力メラ 343人
- 集団健康診断 1,023人
- 歯科検診 830人
- 町民ドック 1,438人
- がん検診 延べ 153人
- 予防教室事業
- ヘルスアップ教室 22回
- 延べ 1,270人
- お達者教室
- 延べ 193回 2,528人
- 生活習慣病予防教室
- 延べ 46人
- 健康相談 延べ 696人
- 予防接種
- 乳幼児予防接種（ポリオ・BCG・三混・麻しん風しん混合）
- インフルエンザ
- 3,373人

子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌 延べ 1,200回

農林水産業費関係

有害鳥獣被害防止

●小規模型

獣害防止ネット・電気柵設置費の一部補助201戸

●組織型

広域的に防止策を設置4団体、24ha、柵延長5.2km

●シカ捕獲

1,042頭

土木費関係

まち交佐久穂事業終了

3つの目標を実現するために、5力年間（平成19年～平成23年）にわたり各種事業を実施しました。

目標1 安心とつるおいがあふ快適なまち

目標2 学びと福祉が織りなす心豊かな人づくりのまち

目標3 知恵と夢で拓くみんなで作るまち

総事業費は、15億8,910万円でした。



まち交佐久穂事業で整備された橋

北八ヶ岳で道草を

内藤 幸房



「山登りは道草くないながら」とは、ある作家の言葉ですが、子どもの頃から眺め、また歩き馴れ親しんでいる北八ヶ岳の道草をくう場所を、ちょっと視点を交えて紹介します。

亀甲池

双子池から小尾根を越えて西側にある小さな池、ここでは、この池の名前の由来になっている多角形の亀甲状の模様が多数見える。こここの標高は2,000m以上あり、寒冷気候の下で水の凍結と融解が繰り返される事により砂礫がふるい分けられ、自然に出来た大変めずらしい場所。

雨池

八柱山越えか、大石川林



亀甲池

道または、麦草峠から歩く頃、八ヶ岳の活動の最後の頃の噴火口跡とも言われている静かな池に着く。白駒の池に次ぐ大きさがある。ここでは絶滅危惧植物「ヒメミスズナ」を見る事が出来る。

稿枯山

山の名前の通りの典型的な稿枯れ現象がある山「稿枯れ現象」は亜高山帯の針葉樹林が帯状に立ち枯れ、

来る。

立枯れた後からは若木が育つていく、またその帯が年に2m程上方へ移動する。この不思議な現象の成因は地質、風、木の寿命等考えられているが、まだ確定はされていない。茶臼山頂上横の見晴台から白い縞状が良く見える、また麦草峠の南側からも一部見える。

稲子岳

稲子岳の西側には長さ約900m、最大幅約250m、深さ45m程の細長い凹地がある、中に水は無く桜の木などもある、稲子岳、天狗岳から良く見える。

この特色ある地形は、稲子岳の山体の東半分が大崩壊をして大月川泥流が発生した時、残された山体が支えを失って大規模な地滑りを起こし、その結果生じた凹地であろうと言われている。

茂来館・図書館

おまけにひとつ。八ヶ岳や茂来山を見ながら、ゆっくり道草をくうには最適な場所、北八ヶ岳の本も多い。

閉会中の議員活動

6月～8月
(主なもの)

6月

- 姉妹都市交流協会総会
- 常任委員会合同視察研修
- 統合小中学校校舎棟、体育館棟安全祈願祭、起工式
- 佐久広域連合定例会
- 道路整備促進期成同盟会総会
- 佐久南部広域営農団地促進協議会総会
- 高速道対策協議会総会

7月

- 広報編集調査特別委員会
- 茂来山コブ太郎保護協議会総会
- 国道299号整備促進期成同盟会総会(茅野・佐久穂間)

8月

- 佐久水道企業団水源感謝祭
- 南佐久郡議長会
- 南佐久環境衛生組合議会臨時会
- 県町村議会議員研修会
- 学校跡地Aグループ会議
- 女性みちの会総会
- 学校跡地Bグループ会議
- 国道299号道路整備促進期成同盟会総会
- 佐久水道企業団定例会
- 成人式
- 県道下仁田佐久線整備促進期成同盟会総会
- 学校跡地A・Bグループ会議
- 佐久地域問題研修会

次回定例会は、12月上旬に予定しています。皆さんの傍聴をお待ちしています。

編集後記

どんな大事件も、時間が経つと忘れられていく。あの重大事故を起こした、何か意図があるのか、マスコミもほとんど報道しない。伝えられないからこそ、事態が深刻という事もある。関心を持つことが、事態を打開する力になるのでは。